

Daiwa Japan Conference 2022

2022年9月13日

株式会社メイテック

代表取締役社長 グループCEO
國分 秀世

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

IRに関するお問い合わせ

E-mail： ir@meitec.com

Tel： 050-3033-0945

2023年3月期業績予想 グループ連結

2022年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+11.1%の1,190億円、営業利益は同比+20.1%の154億円、当期純利益は同比+13.6%の105億円
- ✓ 販売管理費は同比+12.9%⇒エンジニア社員増加による営業職等の増強などを見込む

(百万円未満切捨て)	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	119,000	+11,859	+11.1%	57,300	+6,384	+12.5%	61,700
売上原価	86,200	+7,282	+9.2%	42,000	+3,925	+10.3%	44,200
販売管理費	17,400	+1,994	+12.9%	8,500	+996	+13.3%	8,900
営業利益	15,400	+2,582	+20.1%	6,800	+1,463	+27.4%	8,600
営業利益率	12.9%	+0.9%		11.9%	+1.4%		14.0%
経常利益	15,500	+2,551	+19.7%	6,800	+1,394	+25.8%	8,700
親会社株主に帰属する当期純利益	10,500	+1,259	+13.6%	4,500	+950	+26.8%	6,000
(※)1株当たり当期純利益(EPS)	131.04	▲210.52		56.16	▲74.28		

※2022年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する前提で、当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益(EPS)を算出しています。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、2四半期(累計)は168.48円、通期は393.13円となります。

3

2023年3月期業績予想 メイテック

2022年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+7.8%、営業利益は同比+16.6%、当期純利益は同比+14.3%の予想
- ✓ 販売管理費は同比+10.4%⇒エンジニア採用目標数の増加や営業職等の増強などを見込む

(百万円未満切捨て)	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	83,000	+5,989	+7.8%	40,000	+3,158	+8.6%	43,000
売上原価	59,700	+3,196	+5.7%	29,200	+1,723	+6.3%	30,500
原価率	71.9%	▲1.5%		73.0%	▲1.6%		70.9%
販売管理費	11,000	+1,039	+10.4%	5,500	+582	+11.9%	5,500
営業利益	12,300	+1,753	+16.6%	5,300	+852	+19.2%	7,000
営業利益率	14.8%	+1.1%		13.3%	+1.2%		16.3%
経常利益	13,200	+2,074	+18.6%	6,200	+1,172	+23.3%	7,000
当期純利益	9,200	+1,148	+14.3%	4,300	+829	+23.9%	4,900
稼働率(全体)	95.8%	+1.5%		94.2%	+3.2%		97.4%
稼働時間(h/day)	8.42	—		8.36	—		8.47
採用数<名>	754	+126					
新卒採用数	474	+12					
中途採用数	280	+114					
退職率	5.8%	—					
				2023年4月入社 の新卒採用目標数	500	22年4月 実績比	+26

5

2023年3月期 第1四半期業績 グループ連結

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は13.6%増収⇒稼働人員数の増加と稼働率の向上を両立
- ✓ 営業利益は45.9%増益⇒労務費等原価と販管費の増加を売上高の増収で吸収

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年5月公表 2Q期初予想	予想 進捗率
売上高	25,196	28,632	+3,436	+13.6%	57,300	50.0%
売上原価	18,835	20,896	+2,060	+10.9%	42,000	
原価率	74.8%	73.0%	▲1.8%			
販売管理費	3,807	4,010	+203	+5.3%	8,500	
営業利益	2,552	3,725	+1,172	+45.9%	6,800	54.8%
営業利益率	10.1%	13.0%	+2.9%		11.9%	
経常利益	2,581	3,741	+1,159	+44.9%	6,800	55.0%
特別損益	0	0	—			
税金等調整前四半期純利益	2,581	3,740	+1,159	+44.9%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	2,370	+763	+47.5%	4,500	52.7%
四半期純利益率	6.4%	8.3%	+1.9%			

4

2023年3月期 第1四半期業績 メイテック

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は10.6%増収⇒提案営業で受注獲得を強化し、稼働人員数の増加と稼働率の向上を両立
- ✓ 営業利益は33.4%増益⇒労務費等原価と販管費の増加を売上高の増収で吸収

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年5月公表 2Q期初予想	予想 進捗率
売上高	18,270	20,199	+1,929	+10.6%	40,000	50.5%
営業利益	2,230	2,974	+744	+33.4%	5,300	56.1%
営業利益率	12.2%	14.7%	+2.5%		13.3%	
経常利益	2,803	3,864	+1,061	+37.8%	6,200	62.3%
四半期純利益	1,938	2,732	+793	+40.9%	4,300	63.5%
稼働率(全体)	88.9%	93.5%	+4.6%		94.2%	
稼働時間(h/day)	8.43	8.35	▲0.08	▲0.9%	8.36	
エンジニア社員数<名>	7,655	7,868	+213	+2.8%		

6

2023年3月期業績予想 メイテックフィルダース

2022年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+20.1%、営業利益は同比+30%⇒稼働人員数の大幅な増加を見込む
- ✓ 販売管理費は同比+18%⇒エンジニア採用目標数の増加や営業職等の増強などを見込む

(百万円未満切捨て)	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	31,000	+5,185	+20.1%	14,600	+2,612	+21.8%	16,400
売上原価	23,950	+3,934	+19.7%	11,450	+2,024	+21.5%	12,500
原価率	77.3%	▲0.2%		78.4%	▲0.2%		76.2%
販売管理費	4,800	+732	+18.0%	2,200	+275		2,600
営業利益	2,250	+518	+30.0%	950	+311	+48.9%	1,300
営業利益率	7.3%	+0.6%		6.5%	+1.2%		7.9%
経常利益	2,250	+517	+29.9%	950	+310	+48.6%	1,300
当期純利益	1,550	+212	+15.9%	650	+211	+48.4%	900
稼働率(全体)	93.3%	+4.3%		90.2%	+6.3%		96.2%
稼働時間(h/day)	8.39	—		8.34	—		8.43
採用数<名>	1,211	+298					
新卒採用数	411	+109					
中途採用数	800	+189					
退職率	11.6%	▲1.9%					
				2023年4月入社 新卒採用目標数	22年4月 実績比		
				450	+39		

7

2023年3月期業績予想 各社別

2022年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

(百万円)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア 紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダース	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	83,000	31,000	3,370	380	1,980
前期比 増減額	+5,989	+5,185	+371	+60	+449
前期比 増減率	+7.8%	+20.1%	+12.4%	+18.9%	+29.4%
営業利益	12,300	2,250	260	0	630
前期比 増減額	+1,753	+518	+70	+4	+155
前期比 増減率	+16.6%	+30.0%	+37.0%	—	+32.8%
経常利益	13,200	2,250	260	0	630
当期純利益	9,200	1,550	170	0	410

9

2023年3月期 第1四半期業績 メイテックフィルダース

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は22.9%増収⇒稼働人員数の大幅増加と稼働率の向上を両立
- ✓ 営業利益は235.3%増益⇒労務費等原価と販管費の増加を売上高の増収で吸収

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年5月公表 2Q期初予想	予想 進捗率
売上高	5,881	7,228	+1,347	+22.9%	14,600	49.5%
営業利益	163	547	+384	+235.3%	950	57.6%
営業利益率	2.8%	7.6%	+4.8%		6.5%	
経常利益	163	547	+384	+235.3%	950	57.6%
四半期純利益	111	376	+265	+238.5%	650	57.8%
稼働率(全体)	80.4%	87.5%	+7.1%		90.2%	
稼働時間(h/day)	8.39	8.26	▲0.13	▲1.5%	8.34	
エンジニア社員数<名>	3,705	4,218	+513	+13.8%		

8

2023年3月期 第1四半期業績 各社別の概況

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- ✓ エンジニア紹介事業は紹介決定数増加により増収増益

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲

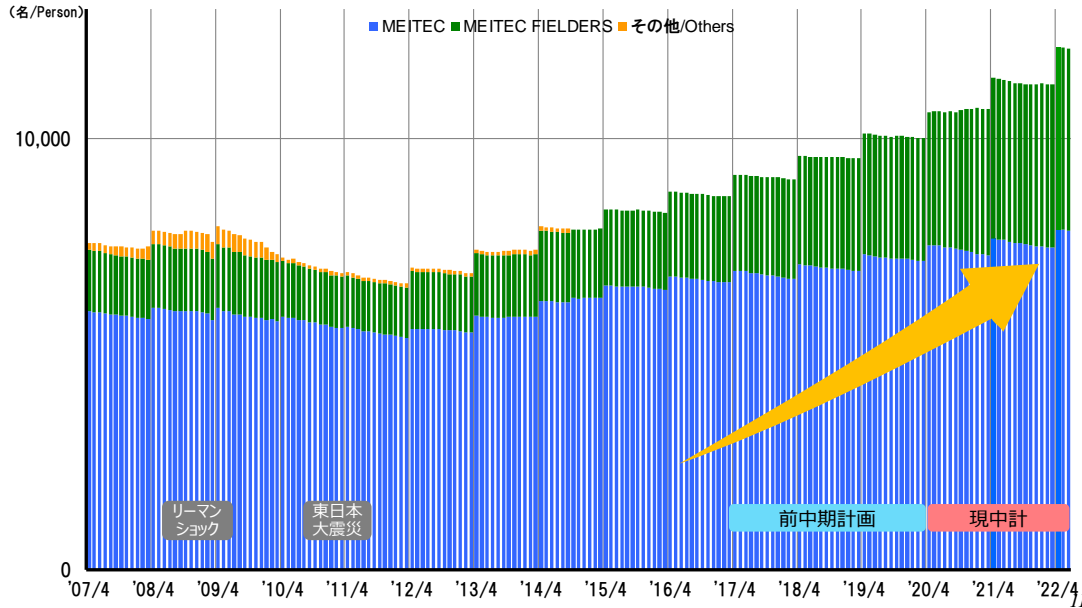
(百万円未満切捨て)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア 紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダース	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	20,199	7,228	815	83	442
前期比 増減額	+1,929	+1,347	+70	+19	+62
前期比 増減率	+10.6%	+22.9%	+9.5%	+31.1%	+16.4%
営業利益	2,974	547	60	△2	157
前期比 増減額	+744	+384	▲1	▲5	+37
前期比 増減率	+33.4%	+235.3%	▲2.3%	—	+31.2%
経常利益	3,864	547	60	△2	157
四半期純利益	2,732	376	41	△2	108

10

エンジニア社員数 グループ連結

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲
MEITEC
Engineering Firm at The Core

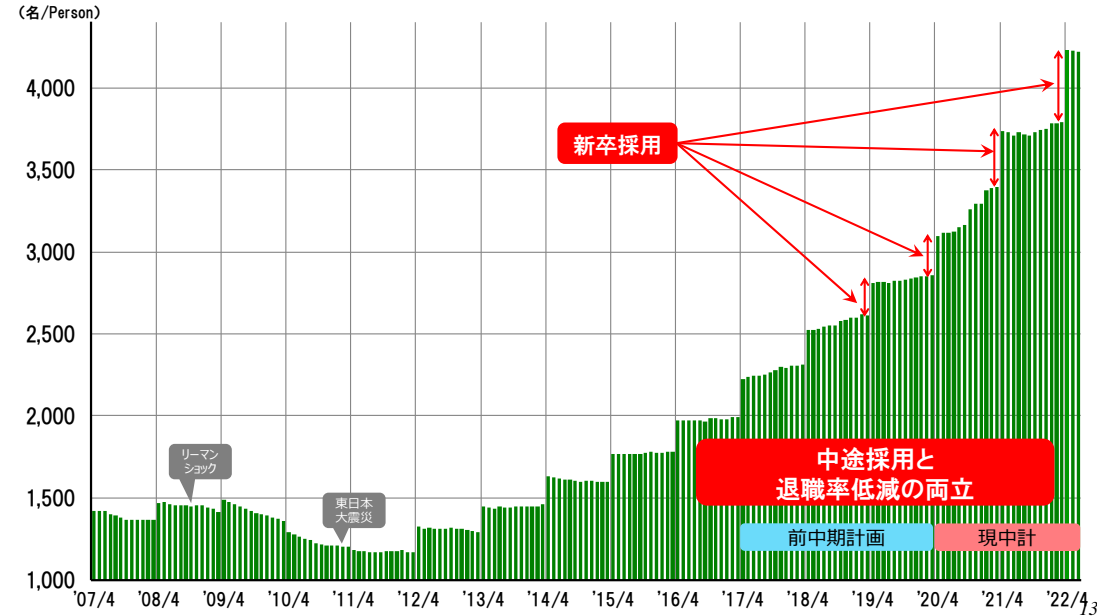
✓ 6月末のエンジニア社員数は12,086名（前年6月末比+726名、+6.4%）



エンジニア社員数 メイテックフィルダース

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲
MEITEC
Engineering Firm at The Core

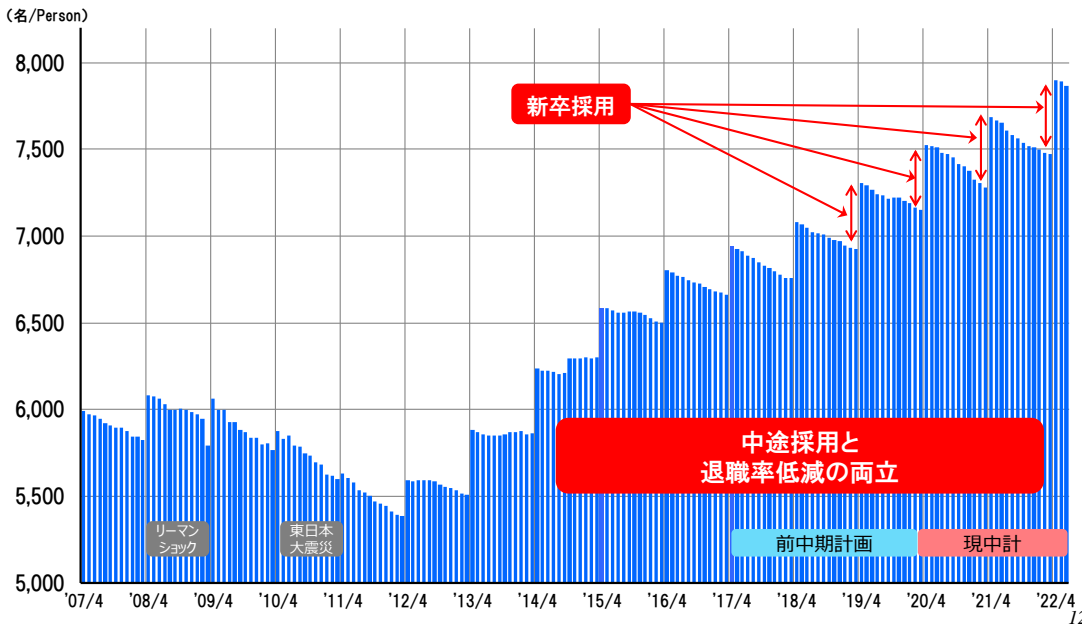
✓ 6月末エンジニア社員数は4,218名（前年6月末比+513名、+13.8%）



エンジニア社員数 メイテック

2023年3月期1Q
決算説明資料再掲
MEITEC
Engineering Firm at The Core

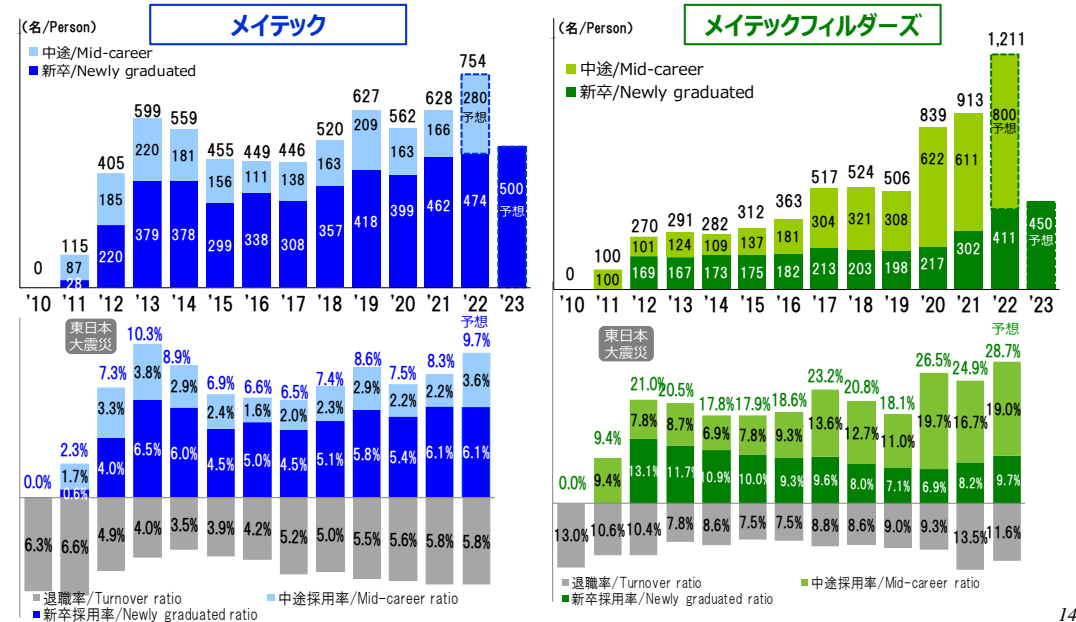
✓ 6月末エンジニア社員数は7,868名（前年6月末比+213名、+2.8%）



採用と退職

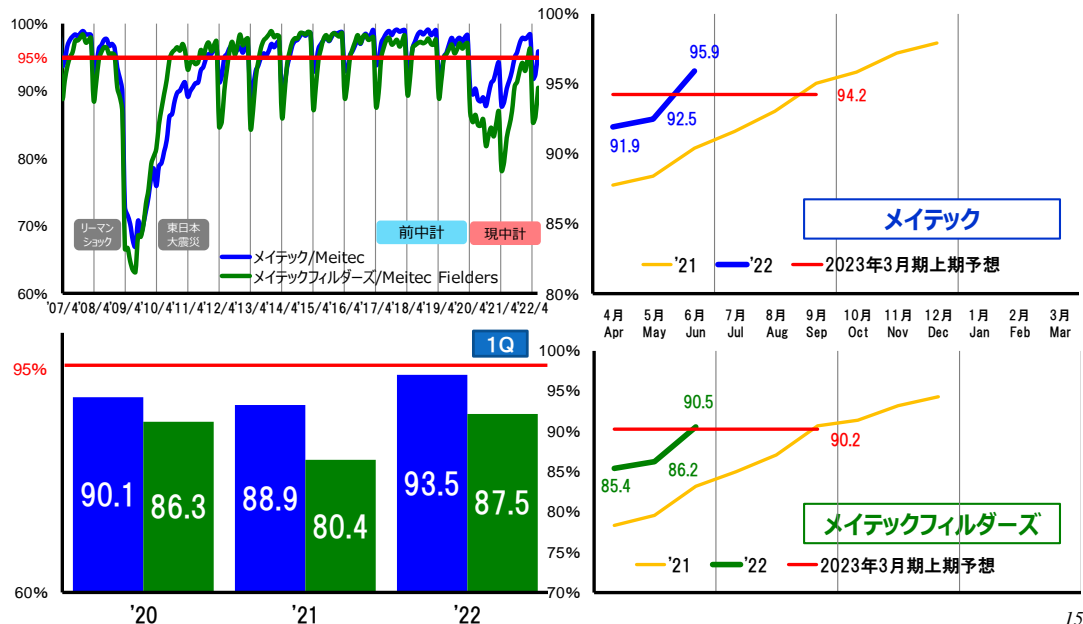
2022年3月期
決算説明資料再掲
MEITEC
Engineering Firm at The Core

✓ 採用環境は厳しいが採用基準は保持



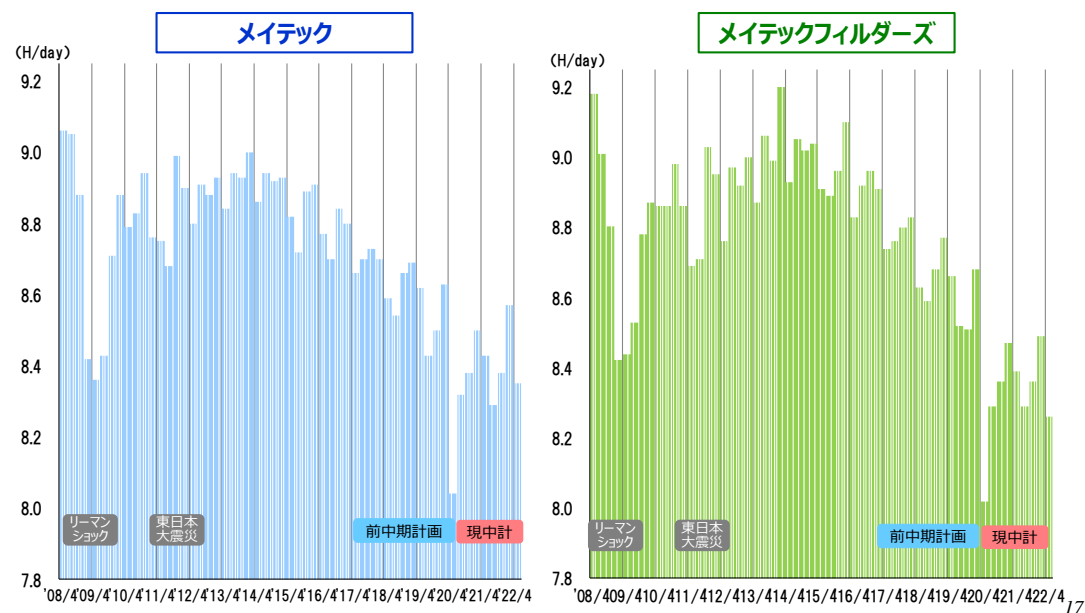
稼働率

✓ 稼働率は向上⇒新入社員（新卒・キャリア）および既存社員の配属が順調に推移

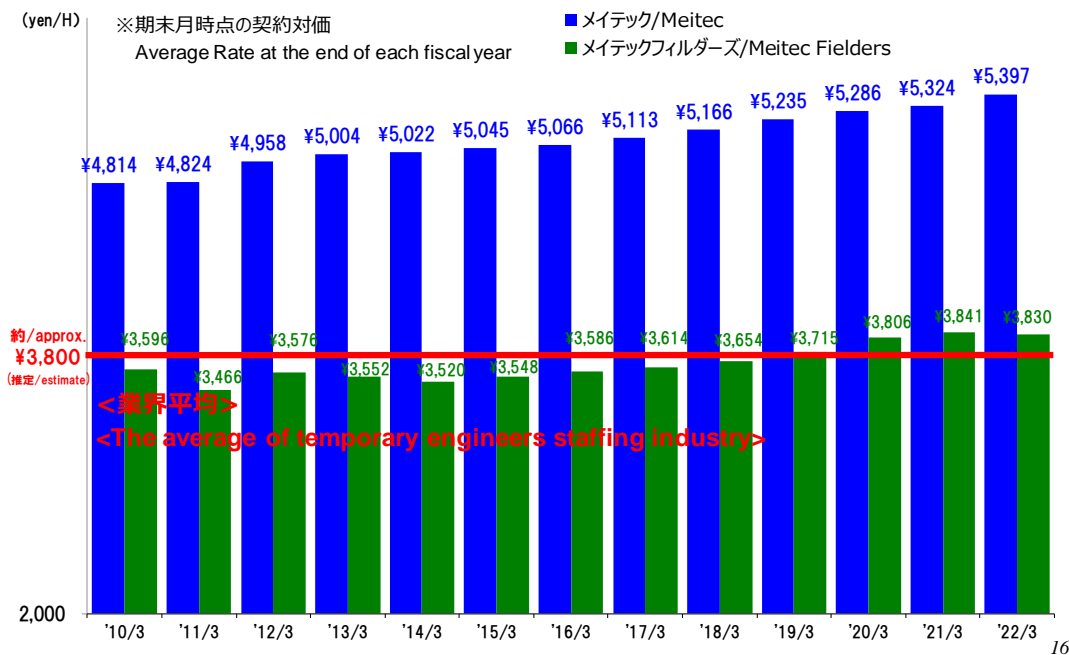


稼働時間

✓ 時間外労働の減少等により前年同期比で若干低下

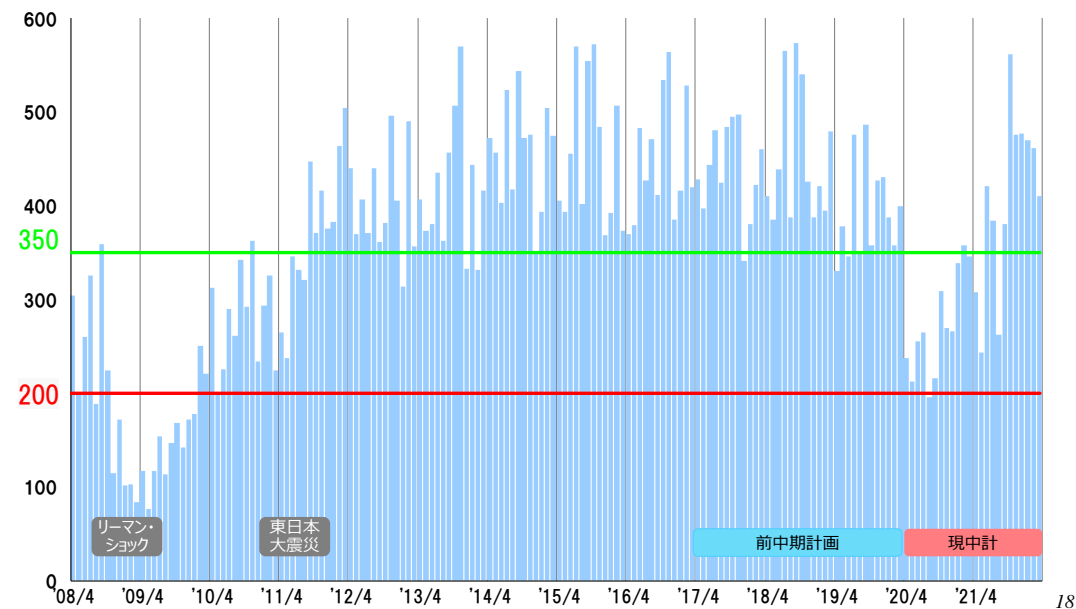


対価・単価・(レート)=[市場価値]



月間新規受注 メイテック

✓ メイテック単体の月間新規受注は回復傾向



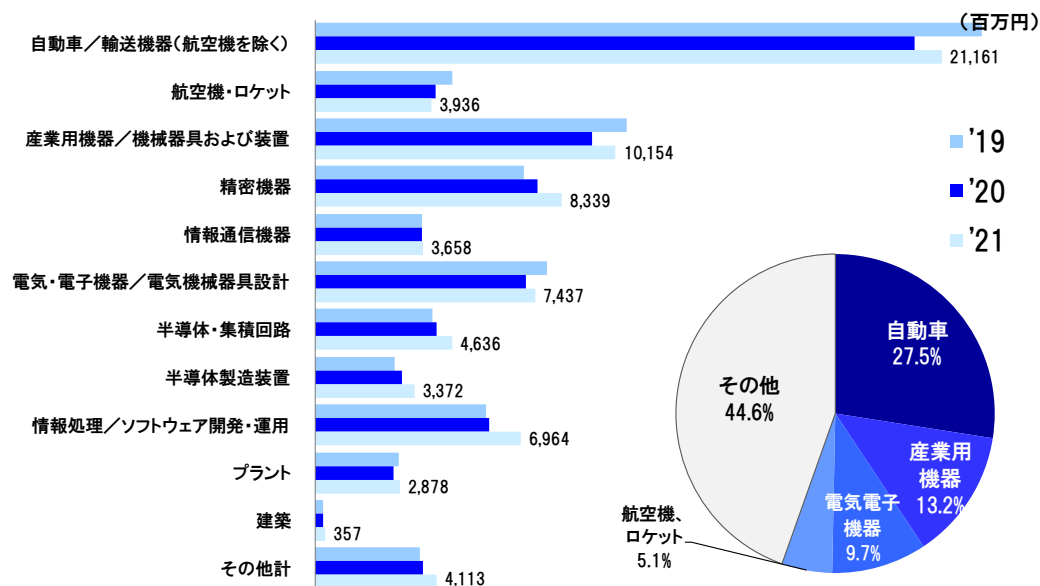
✓ お客さま（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

2017年3月期（2016年度）			2021年3月期（2020年度）			2022年3月期（2021年度）		
1 三菱重工業 様			1 三菱重工業 様			1 デンソー 様		
2 デンソー 様			2 デンソー 様			2 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		
3 キヤノン 様			3 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様			3 三菱重工業 様		
4 パナソニック 様			4 トヨタ自動車 様			4 パナソニック 様		
5 トヨタ自動車 様			5 パナソニック 様			5 ニコン 様		
6 ニコン 様			6 ニコン 様			6 トヨタ自動車 様		
7 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様			7 デンソーテン 様			7 日立ハイテク 様		
8 川崎重工業 様			8 日立ハイテク 様			8 SUBARU 様		
9 三菱航空機 様			9 SUBARU 様			9 デンソーテン 様		
10 オムロン 様			10 日本製鉄 様			10 テルモ 様		
トップ10社合計	17,673	25.2%	トップ10社合計	17,589	24.6%	トップ10社合計	18,937	24.6%
トップ20社合計	24,788	35.4%	トップ20社合計	25,145	35.2%	トップ20社合計	27,186	35.3%
その他	45,295	64.6%	その他	46,308	64.8%	その他	49,824	64.7%
合計	70,083	100.0%	合計	71,452	100.0%	合計	77,010	100.0%

19

業種別売上高 メイテック

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



20

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

- 自己資本の“質と量”が充実していること
- 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の取得・保有・消却

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

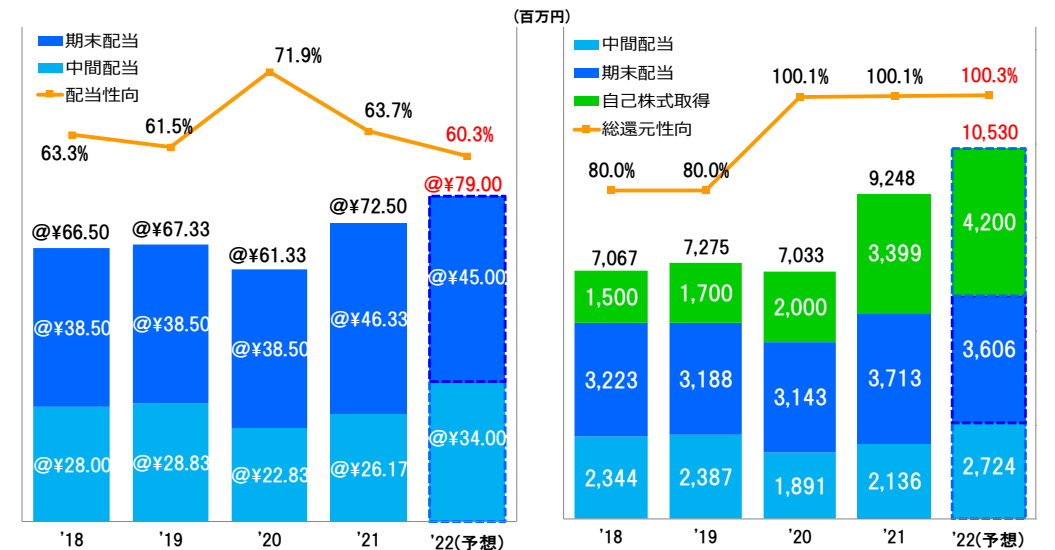
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

21

利益配分の実績と予想

✓ 2021年度の期末配当は139円、中間配当78円50銭と合わせて年間配当金は217円50銭

✓ 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
⇒1株当たり79円の年間配当、総還元性向は100.3%、配当性向は60.3%を予想
※1株当たりの配当金は、株式分割の影響を加味して遡及修正



22

中期経営計画〔3ヶ年〕

中期経営計画の記述に関する注意事項

1. 中期経営計画を開示する本資料中の定量目標は、業績予想とは異なります。新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化懸念が業績に与える影響は、反映していません。
2. 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
3. 正式な業績予想は証券取引所規則に基づく決算短信の開示をご参照下さい。

23

基本方針・重点施策

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針	売上拡大		利益率向上
	収益増強		
重点施策	✓ 最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供 経営トップ直轄で最上級Primeのエンジニア集団を創る 技術営業チームを築く	✓ 設計開発のデジタル化を大きく増やす 量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速 制度や基準を迅速果断に革新	✓ 地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲 業務要件を再定義 デジタル化の促進

24

中期計画2期目の進捗

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

重点施策	2期目の進捗状況
最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供	<ul style="list-style-type: none"> 高い技術力によるソリューション提案営業が進展 実績でエンジニア社員の挑戦意欲を醸成
設計開発のデジタル化を大きく増やす	<ul style="list-style-type: none"> 市場・技術動向に基づく提案営業を強化 業務に要する技術教育を拡充 積極採用を継続
地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特色に応じた教育と採用を推進
オペレーションの標準化を進め、効率を向上	<ul style="list-style-type: none"> 生産性を高める業務の見極めに注力

25

業績予想・中期計画の進捗

参照Page23:中期経営計画の記述に関する注意事項

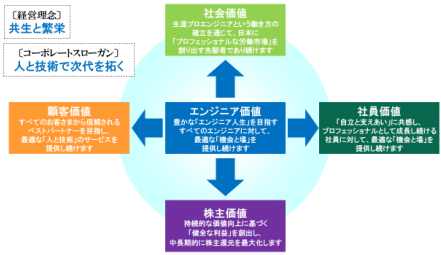
		2020年度	2021年度	2022年度	中期経営計画
		実績	実績	業績予想	目標
グループ連結	売上高	966億円	1,071億円	1,190億円	1,350億円
	営業利益	102億円	128億円	154億円	180億円
	営業利益率	10.6%	12.0%	12.9%	13%
	当期純利益	70億円	92億円	105億円	120億円
	ROE	15.8%	20.6%	23.3%	25%以上
メイテック	売上高	715億円	770億円	830億円	900億円
	営業利益	86億円	105億円	123億円	135億円
	営業利益率	12.0%	13.7%	14.8%	15%
メイテックフィルダース	売上高	213億円	258億円	310億円	400億円
	営業利益	12億円	17億円	22億円	36億円
	営業利益率	5.5%	6.7%	7.1%	9%

26

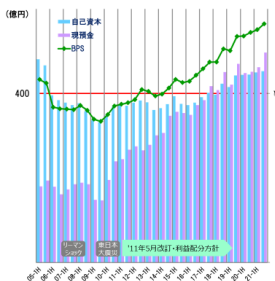
- 幅広いステークホルダーを犠牲にすることなく、株主価値の創造という考えに立ち、株主還元を加速すべきではないか。
- 好調な業績が続いているのだから、利益配分方針を見直すべきではないか。2009年度以降、日本や世界の経済が厳しい時期でも、キャッシュ・フローの安定的な創出を実証したのだから、株主利益を一時的に高めて、月商3か月分の正規水準に戻すべきではないか。キャッシュ・リターンは、自己株式の大きな買い戻し・特別配当、のどちらも手段は問わない。
- 歴史的に見ても、買収による成長は戦略の一部を形成していない。今後の成長戦略を想定しても、自己株式を保有するメリットが薄れているので、自己株式の保有上限を現行の5%から引き下げるべきではないか。この引き下げで株価上昇の可能性はある。

グループの目指すべき姿～5つの価値

私たちMEITECグループは、全社員がつながりあい、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



自己資本・現預金 グループ連結



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠→エンジニアは、安定雇用に前向きとして、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためにも、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の質と量」の充実を優先する

今後も、ROE = 資本コスト + エクイティ・スプレッドの各水準を注視しながら、自己資本の質と量、現預金の活用、利益の持続的伸長、を適切にマネジメントして参ります。

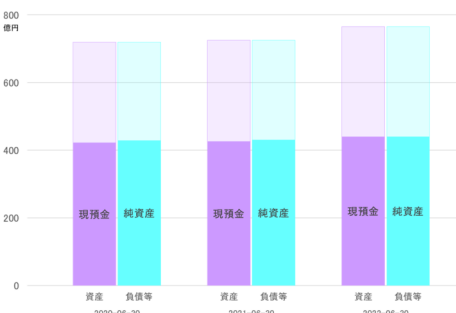
- 左図の「5つの価値」は、それぞれ同じ距離になるように、長きに渡り、細かく気を配りながらマネジメントしています。5つの価値のうち、一部だけを優遇する偏った執行は、持続的成長を著しく阻害するものと考えます。こうした考えや「エンジニア価値を起点に」「経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠」などの意志について、多くの投資家から対話を通じて理解が得られており、永く大切にするように、と要望されています。よって、株主価値だけを優遇する執行は採択いたしません。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定 2017年5月改定 2014年5月改定 利益配分方針	<ol style="list-style-type: none"> 自己資本の「質と量」が充実していること 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること (*連結売上高の月商3ヶ月分)
配当	総還元性向: 100%以内を原則 業績連動型配当: 連結当期純利益の50%以上 最低限の配当: 連結株主資本配当率(DOE)5%
自己株式の取得・保有・消却	取得: 総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施 保有: 発行済総数の5%を上限 消却: 上限超を当期末までに消却

✓ 自己株とは、経理計測の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対していく機動的な財務政策を可能とするために保有



- 利益配分方針についても、多くの投資家から、対話を通じて理解が得られている、と認識している為、見直す必要は無い、と考えます。

まず、年度末・3月末は、業績に連動する賞与・税金・配当などは未払いの為、現預金残高が多く残ります。よって、実態把握は、左図の賞与支給などを終えた第1四半期末・6月末の比較などが適切であり、財務規律が堅持されている事をご理解ください。

次に、利益配分方針で明示している通り、第1に「自己資本の質と量の充実」を掲げ、「現預金残高の水準」は第2、です。この優先順位を変更する事、現預金残高だけに焦点を当てて一時的に高額なキャッシュ・リターンを行う事、足元で不確実性が増している最中にキャッシュ・フローを超える還元へ方針を変更する事、いずれも、前述1.の回答と同じで一部優遇の不適、持続的成長を著しく阻害するものと考えます。

よって、利益配分方針の変更は採択いたしません。

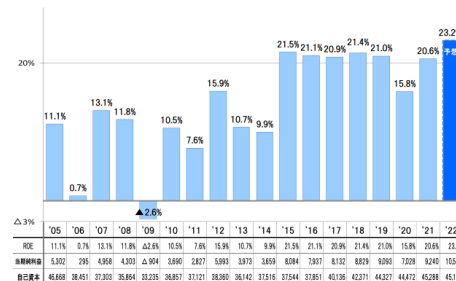
利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定 2017年5月改定 2014年5月改定 利益配分方針	<ol style="list-style-type: none"> 自己資本の「質と量」が充実していること 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること (*連結売上高の月商3ヶ月分)
配当	総還元性向: 100%以内を原則 業績連動型配当: 連結当期純利益の50%以上 最低限の配当: 連結株主資本配当率(DOE)5%
自己株式の取得・保有・消却	取得: 総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施 保有: 発行済総数の5%を上限 消却: 上限超を当期末までに消却

✓ 自己株とは、経理計測の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対していく機動的な財務政策を可能とするために保有

連結自己資本当期純利益率:ROE



- 自己株式の保有方針は、投資家との対話で、希薄化などを強く懸念する指摘は受けていません。

また、保有ゼロへの方針変更は機動的な施策の選択肢の消失で、成長の機会が失われる可能性もあります。

これまで、ほぼ毎年、保有上限を超える自己株式を方針通りに消却して、規律を守り続けています。

なお、ご指摘の通り、買収の実績が少ないですが、買収という手段を目的化する事、株主利益の一時的な上昇に止まるような執行、は不適と考えます。

現時点で、自己株式の保有方針は著しく不合理との認識が無い為、方針の変更は採択いたしません。

ご参考資料

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

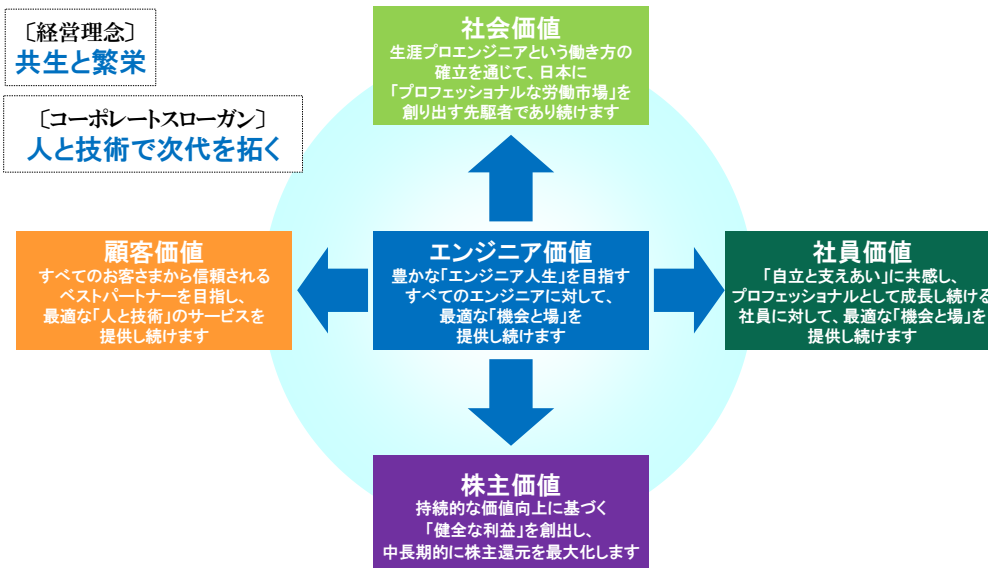
人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

33

グループの目指すべき姿～5つの価値

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



32

Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

34

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <ul style="list-style-type: none"> 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献 	<p>8 働きがいも経済成長も</p>  <ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>高度な技術教育と生涯学習の促進</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供</p> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>グループCG方針社員行動規範の遵守徹底</p>

メイテックグループ中期経営計画 [2020 - 2022]

The Transformation

社会、お客さまの変化、進化に合わせて、従来の延長線ではなく自分たち自身が「事業モデルを変革」し、今まで培った品質を維持し、グループ一体で高付加価値を追求し、「唯一無二」の企業へと変革します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

〔経営理念〕
共生と繁栄

8 働きがいも経済成長も



私たちエンジニア集団は、お客さまの開発業務を通じて、お客さまと共に、社会課題の解決に取り組めます

多くのお客さまで共通するマテリアリティ

3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



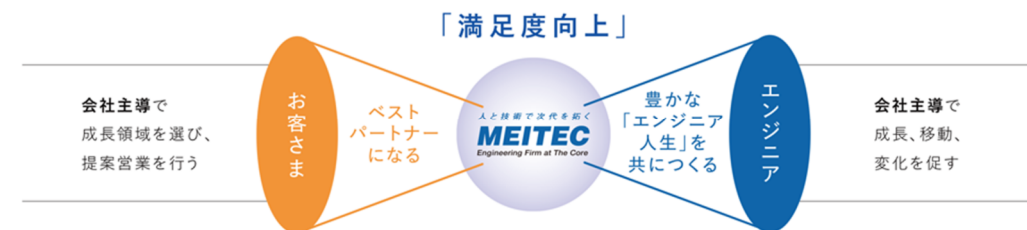
13 気候変動に具体的な対策を



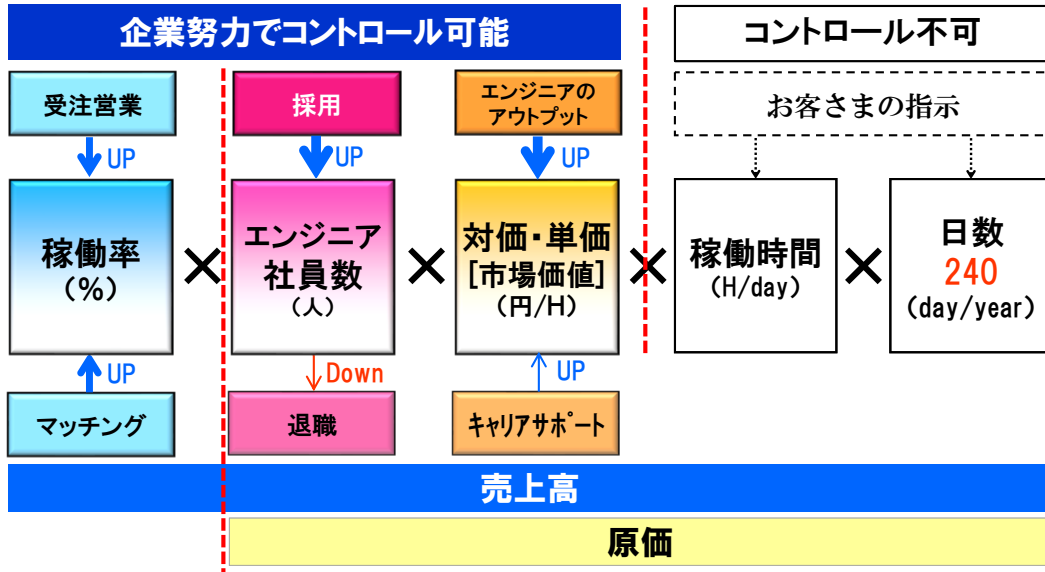
17 パートナリシップで目標を達成しよう



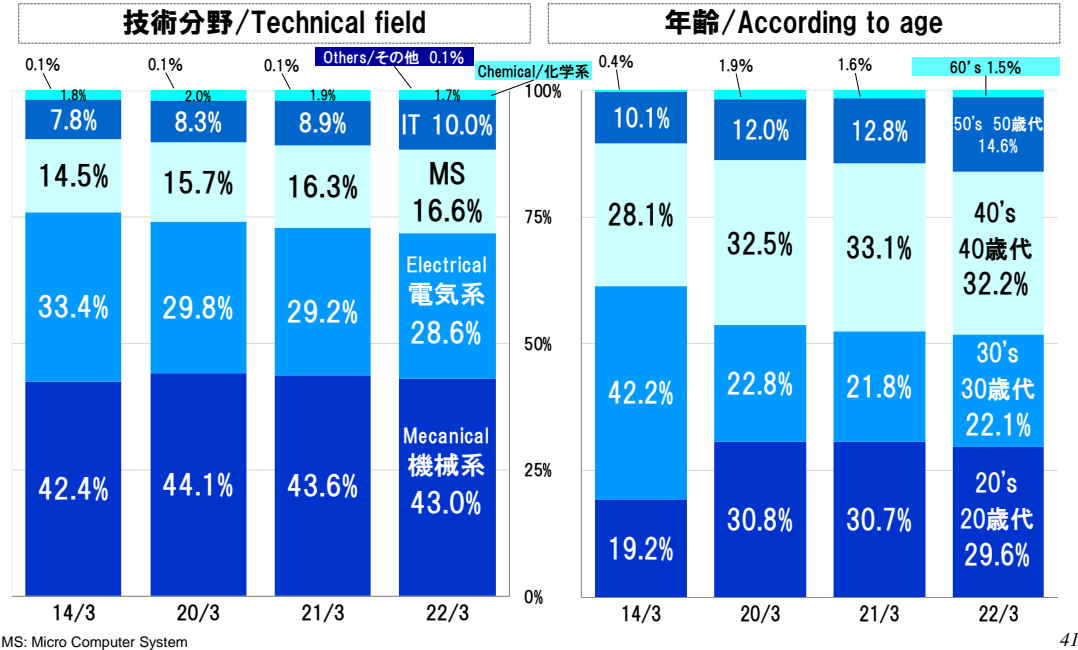
お客さまとエンジニアのさらなる「満足度向上」へ



✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵

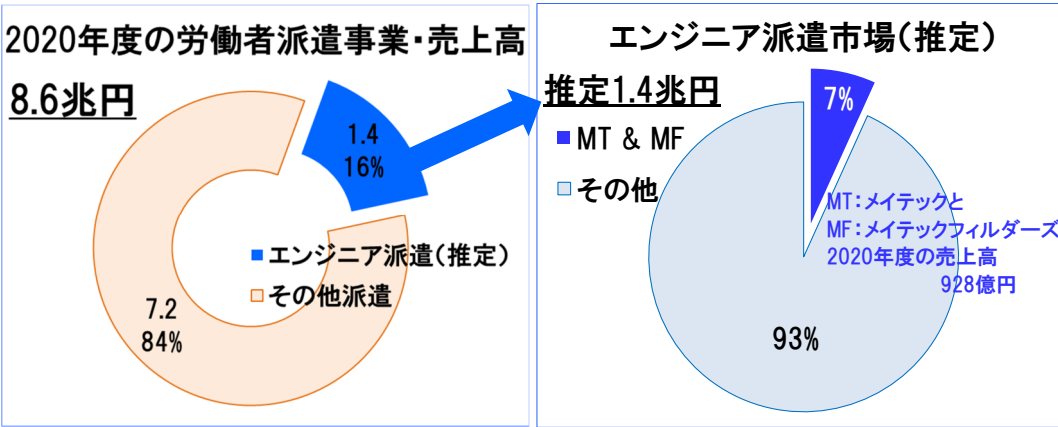


39



41

エンジニア派遣市場(推定)



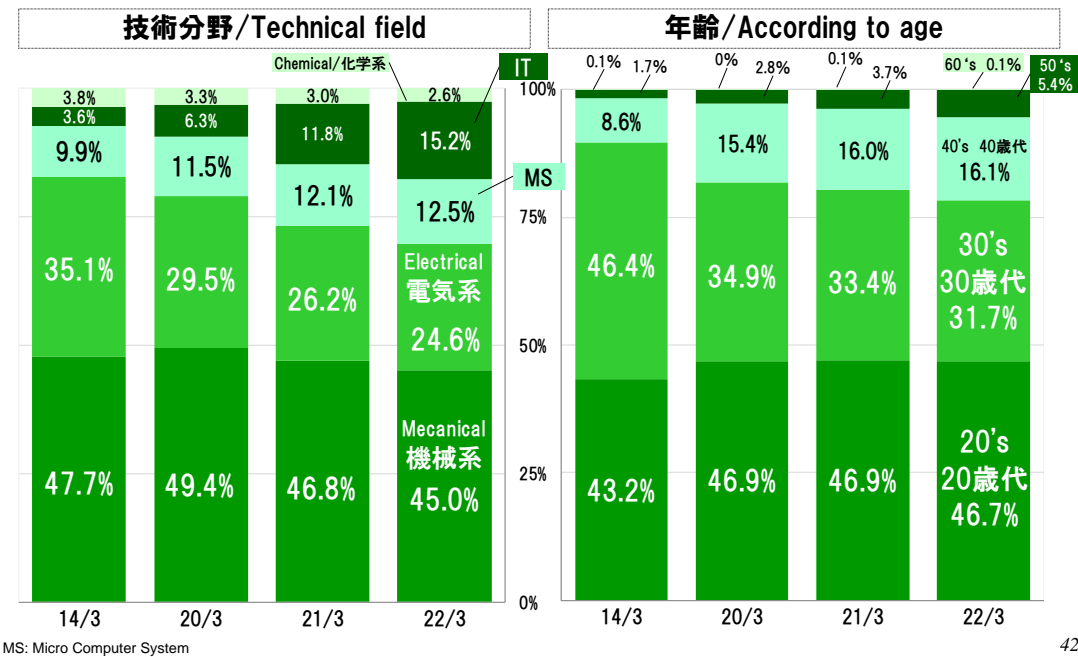
2022年3月		エンジニア派遣 (推定)
メイテック	メイテックフィルダース	
¥5,397	¥3,830	約¥3,800

出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

40

エンジニアの構成 メイテックフィルダース



42

Table showing financial performance metrics (Sales, Operating Profit, etc.) for the Group from 2006 to 2021.

Table showing financial performance metrics (Sales, Operating Profit, etc.) for MEITEC FILTERS from 2006 to 2021.

Table showing financial performance metrics (Sales, Operating Profit, etc.) for MEITEC from 2006 to 2021.

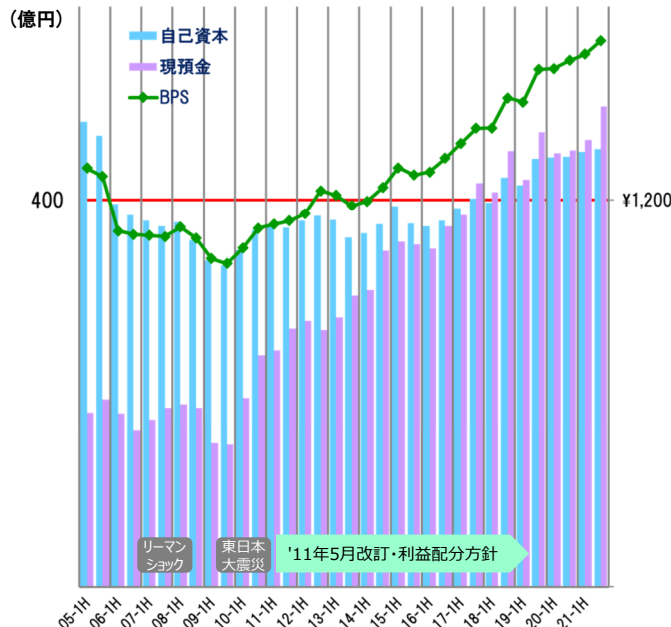
Table showing financial performance metrics (Sales, Operating Profit, etc.) for MEITEC NEXT from 2006 to 2021.

(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31	2022/3/31
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259	41,753	45,052	47,033	45,132	49,706
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400	13,816	13,884	14,696	14,600	16,098
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742	59,235	60,036	62,679	60,885	66,937
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552	5,399	5,402	5,332	5,122	5,002
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634	11,608	14,579	14,814	14,153	14,652
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377	70,934	74,615	77,493	75,038	81,590
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662	16,176	16,927	17,228	14,272	19,669
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860	14,617	15,317	15,937	16,294	16,633
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523	30,794	32,244	33,166	30,566	36,302
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,700	42,078	44,173	45,950	45,898	46,457
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116	▲1,939	▲1,802	▲1,623	▲1,426	▲1,169
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854	40,139	42,371	44,327	44,472	45,287

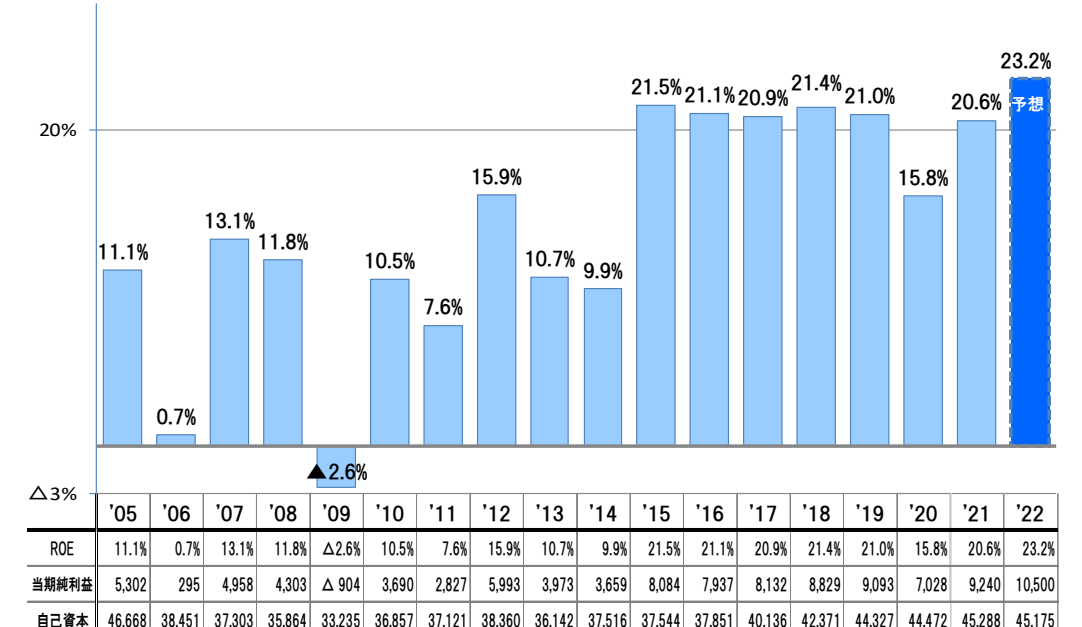
営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186	10,957	10,273	9,837	5,487	13,532
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325	▲464	▲240	▲536	▲307	▲270
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011	▲5,999	▲6,734	▲7,319	▲7,080	▲8,688
現預金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845	+4,493	+3,298	+1,980	▲1,900	+4,574

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総還元性向(連結)	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%	100.1%	100.3%
配当性向(連結)	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	71.9%	63.7%	60.3%
純資産配当率(連結)	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	11.4%	13.1%	
※年間配当	1株当たり @¥19.50	@¥33.00	@¥24.00	@¥37.00	@¥48.00	@¥50.50	@¥59.00	@¥66.50	@¥67.33	@¥61.33	@¥72.50	@¥79.00
金額(百万円)	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	5,033	5,848	6,330
※中間配当	1株当たり @¥9.67	@¥10.00	@¥10.50	@¥14.67	@¥21.00	@¥22.67	@¥24.83	@¥28.00	@¥28.83	@¥22.83	@¥26.17	@¥34.00
金額(百万円)	961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891	2,136	2,724
※期末配当	1株当たり @¥9.83	@¥23.00	@¥13.50	@¥22.33	@¥27.00	@¥27.83	@¥34.17	@¥38.50	@¥38.50	@¥38.50	@¥46.33	@¥45.00
金額(百万円)	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	3,143	3,713	3,606
自己株式取得	株数(千株)	421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	390	500
金額(百万円)	700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000	3,399	4,200
総利益配分額(百万円)	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	7,033	9,248	10,530
株式消却	株数(千株)	400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	400	500
株価	期初4月1日	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065	¥6,040
	期末3月31日	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	¥6,110	¥6,650
※1株当たり当期純利益	@¥28.48	@¥62.03	@¥42.77	@¥40.04	@¥89.75	@¥91.44	@¥95.55	@¥105.14	@¥109.45	@¥85.26	@¥113.85	@¥131.04
※1株当たり純資産	@¥378.37	@¥409.87	@¥394.28	@¥412.93	@¥426.20	@¥443.52	@¥474.67	@¥506.14	@¥535.34	@¥544.81	@¥565.21	

※1株当たり指標は、2022年7月1日効力発生株式分割後(1株につき3株)の株式数を基準に算定



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠 → エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する



I. 会社の機関

1.組織形態	監査役設置会社
2.会社独自の取り組み	<p>①コーポレートガバナンス委員会 委員長:社外取締役、委員:取締役全員</p> <p>・取締役会の実効性に関する分析・評価 ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議</p> <p>②役員人事諮問委員会 委員長:社外取締役、委員:CEOと社外取締役</p> <p>プロセスの適正性の評価</p> <p>・代表取締役CEOの選解任 ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価 ・取締役・監査役候補者の指名 ・社内業務執行取締役の報酬</p> <p>CEO候補者選考協議会</p>

II. 取締役会などの構成(2021年12月21日改正)

2023年6月定時株主総会の任期まで、
取締役総数9名のうち、
独立社外取締役4名(44%)の構成とし、
本方針を2023年6月定時株主総会までに改定

III. 役員報酬

固定報酬	改正:2019年3月26日～		
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額	28,800千円	(月額 2,400千円)
取締役副社長	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
取締役	年額	19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額	9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額	7,800千円	(月額 650千円)
取締役(のみ)に対する業績連動報酬など	改正:2016年4月1日～		
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%以内 上限:年額250百万円		
うち社外取締役	支給対象外		
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)		

本社	東京都台東区
本店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証プライム)
設立	1974年(昭和49年)7月17日
取引先	上場企業および優良中堅企業約1,200社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社メイテックフィルダーズ 株式会社メイテックキャスト 株式会社メイテックEX 株式会社メイテックビジネスサービス <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社メイテックネクスト

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2022年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	10	0.2%	159,600	0.6%
信託銀行	12	0.3%	6,869,400	24.5%
生保・損保会社	19	0.4%	3,334,033	11.9%
証券金融・その他金融会社	5	0.1%	28,660	0.1%
証券会社	31	0.7%	217,893	0.8%
事業会社・その他法人	64	1.5%	147,691	0.5%
外国法人・外国人	235	5.4%	13,486,720	48.0%
個人その他	3,937	91.3%	3,856,003	13.7%
合計	4,313	100.0%	28,100,000	100.0%

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core